

あわら市

人口	28,593人	※11月1日現在
世帯	10,113世帯	
面積	116.99平方キロメートル	
シンボル	【花】花菖蒲、【木】梅、【鳥】白鷺	

これまで、行政や市民同士で交流を図ってきた両姉妹都市について、簡単に紹介します。ただし、掲載したものの外にも、両市には特徴や見どころ、名物がたくさんありますよ。どんなまちなのかささら知ったら、絆を深めるために、姉妹都市へ行ってみませんか。



香美市、下妻市ってどんなまち？



龍河洞 リューくん

画像提供・協力：高知県香美市、茨城県下妻市

茨城県下妻市

茨城県南西部、東京から約60km圏に位置し、正方形に近い形をしています。北は筑西市、南は常総市、東はつくば市の筑波研究学園都市、西は結城郡八千代町にそれぞれに接しています。東京から高速道路や鉄道で約1時間30分の時間距離にあります。



昭和29年6月1日、下妻町と上妻村、総上村、豊加美村、高道祖村が合併して誕生。これに先立ち、同年4月1日に下妻町と大宝村、騰波ノ江村が合併して、実質的には1町6村による合併でした。その後、平成18年1月1日に結城郡千代川村と合併し、現在に至っています。

実りある農地や平地林などの緑が豊かで、東を小貝川、西を鬼怒川が流れ、まちの中央には春に桜の名所となる砂沼があるなど、美しい自然に恵まれている水と緑の田園都市です。また、広大な田園風景の中に筑波山がそびえています。古くからこの自然を大切に育み、農業にも活かしてきていて、現在でも、広大で優良な農地を有し、県内有数の農産物産出地域を形成しています。



昔から養豚業が盛ん

幸水を樹上で十分に完熟させた期間限定出荷の「下妻甘熟梨」が有名

もちもち感が特長の「ミルククイーン」は下妻市が発祥といわれている

80.88平方キロメートル

42,737人

※11月1日現在

15,458世帯

位置

高知県の東部に位置し、四国山地南嶺から高知平野に至る物部川中流域を占めています。南国市、香南市、安芸市、大豊町、本山町、徳島県三好市、那賀町に接し、県都高知市からも近い距離にあります。高知龍馬空港から車で約15分、鉄道ではJR高知駅から特急で15分、岡山から2時間20分の時間距離にあります。



香美市

概要

平成18年3月1日、土佐山田町と香北町、物部村が合併して誕生。市域の9割を占める森林の多くは、剣山国定公園や奥物部県立自然公園などに指定されています。「アンパンマン」の原作者故やなせたかし氏の故郷で、市内にはアンパンマンミュージアムがあり、観光案内所の看板やバスなどには、アンパンマンのキャラクターの姿が描かれています。また、国内有数の鍾乳洞である龍河洞や轟の滝といった観光地や、べふ峡温泉などの温泉場も豊富。400年の歴史を誇る土佐山田町の土佐打刃物や、端午の節句に欠かせないフラフの彩色などの伝統産業も息づいています。

人口

26,485人

※11月2日現在

世帯

13,007世帯

面積

538.22平方キロメートル



ゆず玉出荷量は日本一！



かりかりとした歯ごたえが特長の幻の桃



(※)フラフとは、高知県の中東部で、鯉のぼりとともに上げて節句を祝う旗。職人の手によって、大きな布に時代絵巻やおとぎ話の世界が色鮮やかに描かれている。

主な特産品

土佐打刃物、フラフ(※)、ユズ、かりかり桃子、やっこねぎなど

主なイベント

大川上美良布神社夏祭り(7月)、土佐山田まつり(8月)、奥物部湖湖水祭(8月)、あびす昭和横丁(9月)、刃物まつり&山田のかかしコンテスト(10月)、大川上美良布神社秋季大祭(11月)、香北もみじ祭り(11月)、龍河洞クリスマスキャンドルナイト(12月)など

シンボル

【花】あじさい、【木】すぎ、【鳥】かわせみ

砂沼桜まつり(4月)、多賀谷時代まつり(4月)、小貝川フラワーフェスティバル(5月)、花とふれあいまつり・鬼怒川流域交流Eポート大会(5月)、大宝八幡宮あじさい祭り・流鏝馬神事(6月)、下妻まつり(千人踊り、砂沼花火大会)(8月)、タバカ祭(9月)、しもつま砂沼フェスティバル(10月)、菊まつり(10月~11月)など

【花】菊、【木】松

砂沼花火大会



千人踊り



小貝川ふれあい公園



鬼怒川フラワーライン



蕎麦畑と筑波山



砂沼サンビーチ



タバカ祭



土佐山田まつり



ものべがわcaféチャリ



アンパンマンミュージアム
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



轟の滝



山田のかかしコンテスト



大川上美良布神社秋季大祭



龍河洞クリスマスキャンドルナイト